



## ★★ 平成16年度 大鹿小学校砂防現場見学会が行われました 前編 ★★

### ～ 砂防ステーション・大西砂防堰堤・大河原床固工群 見学編 ～

去る、平成16年6月8日(火) 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所小渋川砂防出張所主催による「大鹿小学校砂防現場見学会」が行われました。参加者は、大鹿小学校4年生の子供たちで、現場見学の後、小渋川へ200匹のカジカを元気に放流し、続いて、テイサービスセンター横へ、桜の木を記念植樹しました。

本号では、前編として砂防ステーション・大西砂防堰堤・大河原床固工群見学などの、現場見学时における、子供たちの感想の声を、取り上げてみました。



砂防ステーションにて、模型を使って…みんな真剣です。

田島 智子さん (中央写真 中列左から3人目)  
砂防ステーションでは、ビデオをみて、もけいでせつ明してもらいました。大西山から、たくさんのどしゃが流れて、家などが流れている様子を見ました。とても大変そうでした。次に、土石流のもけいでえんていがある時と、ない時とくらべるとえんていは、とても大切なやくわりをしていることがわかりました。大西えんていは、昭和36年に作られて、完成したのは昭和38年だそうです。長さが122m高さが20mあるそうです。三六災害の後に出来たことも教えてもらいました。床固工が出来た理由は、大西山がくずれて川底にたまった土砂を、スムーズに流すためだそうです。次に、重機に乗せてもらいました。とても大きくて少しこわかったです。

板山 雄樹くん (中央写真 中列左から4人目)  
砂防ステーションで三六災害のビデオを見て、三六のすごさがわかりました。もけいで地すべりと、土石流のことをやりました。地すべりたいさくのために地面へコンクリートのくいをさし、地すべりをふせいでいるとは思いませんでした。土石流をえん堤でとめて、人家に行かないようにするという、すごいふうがありました。えん堤は土石流のスピードを、おとすやくわりがあるというすごいものでした。とこがため工は、土砂をスムーズにするやくめがあり、すごいと思いました。重機に乗って、運転がとてもむずかしそうでした。

木間 隼人くん (中央写真 中列左から2人目)  
砂防ステーションでは、大西山がくずれたときのビデオを見ました。それと大きな石が上から落ちてきたと言う話を聞いたら、すごくびっくりしてしまいました。土石流がすべると、土が落ちてくるということもききました。床固は、大西山がくずれて、川底にたまっていた土砂をスムーズに流すためだそうです。その後、重機に乗せてもらいました。バックホーと重量ダンプという重機に乗せてもらいました。とても大きくて、少しこわかったです。



大鹿小学校4年生の子供たち ハイ、ポーズ。

磯部 達也くん (中央写真 前列左端)  
砂防ステーションでビデオを見て、水がどしゃさいがいの元になっていることがわかった。水は、たまにこわいことがわかった。えんていは、流れてくる土砂をせきとめることがわかった。そこはヒキガエルがいた。水の流れをかんがえて、床固工をしていた。そこは、土砂をスムーズにながすことがわかった。

筒井 奎くん (中央写真 前列左から2人目)  
大西山のどしゃさいがいのビデオを見ました。家などが川でこわされいるのがわかりました。もけいで地すべりはコンクリートのくい、止めていることがわかった。土石流は、えん堤でとめているってわかった。えん堤は、うまっても、つぎのえん堤で、土石流のスピードをゆっくりにする、役目をしているからすごいと思った。床固工は、土しゃをスムーズに流す役目があるとは、すごいと思った。重機の運転が、とってもむずかしそうでした。

北村 恵美子さん (中央写真 前列左から3人目)  
昭和36年のビデオを見ました。ビデオを見て思ったのが、三六さいがいでどしゃくずれがあったので、びっくりしました。いろいろな人が、うまっている人を助けたのと一生けん命、道路を作っていたので、「大変だなぁ」と思いました。えんていの見学では、川がきれいでした。そこで、おじさんの話を聞きました。分かったことは、大西えんていということがわかりました。床固工では、たくさんの人たちが、はたらいっている時でした。そこで、おじさんの話を聞きました。床固工は、どしゃがかたまってスムーズに流すためです。川をさわったら、とてもつめたかったです。

安全第一？



平瀬 左京くん (中央写真 前列右端)  
昭和36年に大鹿村をおそった、三六災害のビデオを見ました。大西山のほうかいによって、りっぱな建てもの以外、ポッカーンとどしゃに民家はうまったのでした。そして、50人もの死者、行方ふめい…。その後、地すべり、土石流について分かりやすく説明して下さいました。えん堤の見学では、1つ目のえん堤で、いきおいを少し止めて、2つ目では、ほとんどのいきおいを止めて、3つ目で土砂を止めます。そういう役わりをしています。床固工は、土砂をスムーズにながすためにけんせつしています。その後、パワーショベル・ダンプに乗せてもらいました。



## 次号後編 ～ カジカの放流・桜の記念植樹・子供たちの砂防見学会の感想 ～ へ続く 乞うご期待！

### 小渋川砂防出張所の紹介



災害から安全に安心して生活ができる。みんなで楽しく暮らせる。そんな面から大鹿村・中川村の皆さんのお役に立てるようにガンバります。川や災害に関するご質問やご意見をどしどしお寄せください。

出張所長 中島



この4月に移動してまいりました。小渋川砂防出張所技術係長の岡本です。以前に業務で小渋川に係わったときから、ここで勉強したいと思っておりましたので、今回の移動にはとても喜んでおります。まだわからないことばかりですが、よろしく願いいたします。

技術係長 岡本



小渋川砂防出張所の勤務になって2年になります。大鹿村のきれいな空気を吸って健康に仕事をしています。これからも大鹿村の美しい四季を感じながら勤務して行きたいと思っております。

技術員 金松



国土交通省中部地方整備局  
天竜川上流河川事務所  
小渋川砂防出張所  
TEL 0265-39-2301  
FAX 0265-39-2460  
URL  
http://www.cbr.mlit.go.jp/tenryo